

「腎機能チェック業務における医薬品適正投与の検討」 へのご協力をお願い

【研究代表者】

杉山 健二郎

【研究背景と目的】

処方されるお薬には腎機能が低下した際に減量が必要な薬剤があります。減量せずにお薬が患者さんに投与された場合、過量投与となってしまう、副作用が発現してしまう可能性があります。そこで当院薬剤部では腎機能のチェックが必要な薬剤を処方箋上で把握できるように工夫し、患者さんに腎機能障害があるにも関わらず、減量されていない処方に対して処方医へ問い合わせ（以下、疑義照会）を行っています。この取り組みが医薬品の適正使用への程度貢献しているかを検討するために本研究を計画しました。

【研究対象】

2016年9月～2018年7月の期間、院内処方で腎機能チェックを行っている34剤が処方された患者さんが対象となります。

該当薬剤としては以下の薬剤です。

アシノン錠 75mg、アロプリノール錠 100mg、イグザレルト錠 10mg/15mg、イーケプラドライシロップ 50%、エスワンタイホウ配合 OD 錠 20mg/25mg、エンテカビル OD 錠 0.5mg「サワイ」、エンドキサン錠 50mg、グリベック錠 100mg、サンリズムカプセル 25mg、シベノール錠 100mg、ジャヌビア錠 50mg、ゼローダ錠 300mg、ゾビラックス顆粒 40%、ネクサバール錠 200mg、ネシーナ錠 25mg、バラシクロビル粒状錠 500mg「モチダ」、ファムビル錠 250mg、ファモチジン OD 錠「テバ」10mg/20mg、ファモチジン注射用 20mg「テバ」、プラザキサカプセル 110mg、ベザフィブラート SR 錠 200mg「日医工」、ベネット錠 75mg、ベプシドカプセル 25mg、メトグルコ錠 250mg、ユーエフティ E 配合顆粒 T150、ユーエフティ配合カプセル T100、リクシアナ錠 15mg/60mg、リスモダンカプセル 100mg、レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」、メロペネム点滴静注用 0.5g「NP」

【研究方法】

疑義照会数について電子カルテ、処方箋より経時的に疑義照会数の件数がどのように変化しているかを調べて統計解析します。解析は当院薬剤部にて行いますが、患者さんの個人情報には削除し、個人情報の漏洩が無いようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

【個人情報の開示】

あなたのご希望があれば個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲でこの

研究計画書の資料等を閲覧または入手することができますのでお申し出ください。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら遠慮なく担当者にお尋ねください。

【個人情報に関する配慮】

調査情報は浜田医療センター薬剤部にて厳重に取り扱います。処方箋は施錠可能な保管庫に保存します。電子情報の場合は、ファイルにパスワードを設定し、研究者以外が閲覧できないように配慮します。調査終了後は消去、またはシュレッダーにて裁断する等適切に処理します。

本研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして学会や論文で発表しますのでご了承ください。

本研究にご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、ご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので令和元年 11 月 30 日までに下記の連絡先へお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。本研究は、独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター 倫理審査委員会の承認を受けております。

【連絡先】

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター

薬剤部：杉山 健二郎

電話：0855-25-0505（代表）